

スリクリーン Thri-Kreen

アサスの人々の中でも異質とされるこれら砂漠に住まうクリーチャーは、狩猟のスリルの中で生きている。

種族的特徴

平均身長: 5フィート4インチ~6フィート6インチ
(約160~195cm)

平均体重: 180~240ポンド (約81~108kg)

能力値: +2【敏捷力】; +2【筋力】または【判断力】

サイズ: 中型

移動速度: 7マス

視覚: 夜目

言語: 共通語、スリクリーン語

技能ボーナス: +2(運動)、+2(自然)

多腕: 1ターンに1回、君は1本の武器を、マイナー・アクションではなくフリー・アクションで、武器を抜くか鞘に収めることができる(または君が携帯しているアイテム1つを取り出すかしまえる)。

生まれつきの跳躍者: スリクリーンは跳躍に際して、常に助走しているものと判断される。

休眠状態: スリクリーンは睡眠をとる代わりに、休眠状態になる。この状態の間、君は周囲の状況に普段どおり注意を払っており、(6時間の睡眠ではなく)4時間の休眠状態をとるだけで大休憩で得ると同一の利益を得られる。

スリクリーンの鉤爪: 遭遇毎のパワーとしてスリクリーン・クローを使用できる。

スリクリーン・クロー

Thri-Kreen Claws / スリクリーンの鉤爪 スリクリーン / 種族
君はすべての鉤爪を使い、至近の敵をすばやく切り刻む。

【遭遇毎】

マイナー・アクション

近接 ・1

目標: 敵1、2、または3体

攻撃: 【筋力】、【敏捷力】または【判断力】+3(11レベルの時点で+6、21レベルの時点で+9)対AC

ヒット: 1d8 + 【筋力】、【敏捷力】または【判断力】修正値のダメージ。使用者はダメージ・ロールに目標に等しい数のボーナスを得る。
11レベル: 2d8 + 【筋力】、【敏捷力】または【判断力】修正値のダメージ。
21レベル: 3d8 + 【筋力】、【敏捷力】または【判断力】修正値のダメージ。

スリクリーンはカマキリ型の人型生物で、アサスの荒野で群れを作り狩猟生活をしている。彼らは厳しい気候に順応しており、乏しい資源で生き延びる専門家だ。スリクリーンは機敏で、その多くがサイオニック能力を持っている。

君がスリクリーンのプレイを希望するなら…。

- ◆ 過酷な世界で生き延びる術を知っている、現実主義の狩人になりたい。
- ◆ ヒューマンとは大きく異なる信念や習慣を持つ種族をロールプレイしたい。
- ◆ モンク、ドルイド、レンジャーといったクラス向きの種族になりたい。

身体的特徴

蟲のような姿のスリクリーンは6本の肢と砂色をした堅固なキチン質の外殻を持っている。彼らは最下部にある1対の肢を脚として用い、最上部にある1対の肢を腕として用いる。中間部にある1対の肢は小さいながらも器用で、スリクリーンはこれを細かな作業に用いたり、上部の腕に余るような力仕事を補佐させる。中間部と最上部のそれぞれの肢には、3本の鉤爪のついた指と1本の親指とがある。戦闘において、スリクリーンは最上部の肢で武器と盾を構えるが、中間の肢はこのような目的で使うには力が足りず、ぎこちない動きとなるため実用的ではない。

素早く運動性の高いスリクリーンは、天然の登攀者にして跳躍者だ。彼らの楔形をした頭部には、大きな複眼、2本の触覚(たいていは痕跡でしかない)、そして力強い顎を持っている。彼らはアクセントの強い共通語を話せるが、彼ら自身は自らの口蓋に適している独自の言語を好む。

スリクリーンの寿命は短く、30年を超えて生きるものは滅多にいない。

スリクリーンをプレイする

スリクリーンの精神、習性、生理機能は、他種族からみるとしばしば奇異に感じられる。しかし、彼らの獰猛な姿にもかかわらず、蟲様人型生物は忠実かつ勇敢な仲間となる。スリクリーンは他種族と同様に欲望も倫理を兼ね備えている; 彼らはそれらに単純な優先順を与える。スリクリーンが最も重視するのは、肉体的特性と精神的特性だ。怠け者や軟弱者は侮蔑に値する; 同様に、力強い者や利口な者には、それを実証するのであれば敬意を表する。

スリクリーンは物事を“狩る者”と“狩られる者”という尺度で判断する。彼らの基本的社会構成単位はクラッチ(一腹卵)とパック(群れ)だ。クラッチとは、個々のクリーンが所属する最小単位である(その数は6を超えない)。クラッチの概念は、“チーム”、“友人”、“家族”に近い。すべてのスリクリーンは、同時に生まれた卵から無事に孵った兄弟を持っている。人生を歩むにつれ、クリーンは“冒険者仲間”や専門化した“狩猟隊”といった1つ以上のクラッチを形作る。パックというのは複数のクラッチから成る大規模な社会単位だ。もしクラッチを追われるなら、スリクリーンは生物学的本能に従い、加入すべき新たな集団を探し始める。

スリクリーンはパックを構成する本能に従って、集団内における自分の序列を確認しようとする。彼らは序列を決定するため秘密裏にクラッチ仲間の潜在力を確認したり、一連の挑戦を、必要なら決闘を行う。スリクリーンの群れの指導者は必然的に最強の個体となるが、その味方は配下に収まるわけではない。彼らはパックやクラッチの指導者に遠慮なく要求を突きつけ、その地位に見合うだけの働きを望む。クリーンの集団は一見して明らかな独裁制であるが、加入者は自由に発言し、また助言をする権利を持つ。実際のところ、それぞれのスリクリーンはそれぞれの分野における専門技術を持つことが望まれる。すべての個体はクラッチのために、ひいては狩の成功に貢献しなくてはならない。



スリクリーン文化において、戦闘とは狩の別形態に過ぎない。スリクリーンは殺意を持って戦うことは滅多に無く、生活のために最小限必要な資源を得るためだけに攻撃をする。別の手段として正当防衛がある - スリクリーンを攻撃したなら、激しい反撃以外の反応を期待することはできない。クリーンが戦闘に勝利したなら、まず本能的に攻撃者の所有物を集め、また(獣の場合は)その肉体から食用に適する部分を剥ぎ取ろうとする。

多くのスリクリーンはサイオニック能力を鍛える。これらの才能を得た者は、しばしば自身の肉体的能力と組み合わせてモンクやバトルマインドとなる。若干の者は、この生来の能力を種族記憶と考えている。この種族の者は、生まれつきクラッチに関する知恵とスリクリーン語の知識を持つ。スリクリーンが、クリーンの歴史で重要な役割を果たした場所やアイテムに遭遇したなら、すべてのクリーンに内在している封印された種族記憶を垣間見ることがある。

スリクリーンの特徴:

個性的、忠実、不可解、敬虔、捕食性、ひたむき、屈強

男性と女性の名前:

チャカ、チュカテット、ドリクテキット、ハッカ、カチャ、チャクテッタ、カチョ、ラクタチョ、パクチャ、ピクイクチャ、サレルカ、ツチャイ、タクチャ。

スリクリーン用背景

スリクリーンは大砂漠に住まう民だ。大部分はウェスタン・ヒンターランドの遊牧民で、都市での生活をほとんど経験していない。しかしアイヴォリー・トライアングルとテーブルランドを悩ます、砂漠の大パックに属している者もある。同族と疎遠になってしまったクリーンは、異種族の仲間と共に新たなクラッチを構成する。



クラッチ仲間の責務

クラッチの観念は、すべてのスリクリーンのアクションに影響を与える。そしてクラッチの責務は多い。

- ◆ クラッチにおける君の序列を受け入れ、指導者の命令に従え。なぜならクラッチとは秩序だったものだからだ。
- ◆ 軟弱な指導者に挑戦しろ。なぜならクラッチは強力であらねばならないからだ。
- ◆ 指導者に助言しろ。なぜならクラッチは賢明でなくてはならないからだ。
- ◆ クラッチとクラッチ仲間を守れ。なぜならクラッチは維持されねばならないからだ。
- ◆ まずクラッチに対する君の責務を果たせ。しかる後にパックに対し、次に他のクリーンに対し、そして知的クリーチャーに対し、最後にクラッチにとって最も重要な、獲物に対する責務を果たせ。

クラッチの最後

戦闘や惨劇の結果として、君は共に生まれたクラッチの仲間を殺されるか捕獲されてしまった。今や君は天涯孤独の身だ。君は新たなクラッチとなる新しい味方を探すのだろうか？ 君は囚われの身のクラッチ仲間を見つけ出し、そして助け出すのか？ 君の失敗が、クラッチの破滅を導いてしまったのだろうか？ 単独での生活は困難だろうか？

関連技能:〈持久力〉、〈看破〉

世界探検

君の周囲にはキチンではなく柔らかな皮膚で覆われた、おいしい匂いを放つ奇妙なクリーチャーがひしめいている。君は彼らについてより多くを学ぶのだろうか？ 彼らに欠けているクラッチとパックの観念に、あなたは耐え切れるだろうか？ 彼らは信用に足らないかも知れない。なぜ彼らは横たわり、何時間にも渡って目を閉じるのだろうか？ 多分、彼らは軟弱者か、あるいは怠け者なのだろう。これらのクリーチャーは、価値あるクラッチ仲間にあふさわしいのだろうか？

関連技能:〈交渉〉、〈治療〉

偉人の眷属

君は種族記憶にまつわる強烈な幻視を体験した。君は偉大な人物を見た。そのスリクリーン大王は、同族ばかりかヒューマンすら従えていた。君は同族と異種族の間の同盟を復活させようとするのか？ 君はスリクリーンの歴史を深く調査するのか？ 君の経験が呼び起こした潜在能力は、如何にして君をサイオニック・キャラクターに導いたのか？

関連技能:〈交渉〉、〈歴史〉